

平成 28 年 (2016 年) 4 月 1 日 <No-3>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0263-47-6789

かほだより

牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) 及び牛白血病ウイルス (BLV) の
侵入防止・まん延防止にご協力下さい

公共牧場入牧前に検査とワクチン接種！

公共牧場を介した BVDV 及び BLV のまん延防止を図るため、「**BVDV が陰性であること**」及び「**牛白血病抗体が陽性か陰性かどうか判明していること**」並びに「放牧前に I B R 5 混又は 6 混ワクチンを接種済みであること」を入牧条件としている牧場があります。(詳細は牧場管理者にご確認下さい。)

BVDV の清浄化及び BLV の感染拡大を防止するための重要な取り組みですので、検査の推進等にご理解とご協力をお願いします。

中信家畜畜産物衛生指導協会が、昨年に引き続き放牧牛等を対象とした BVDV 及び BLV 検査事業を実施しますのでご活用下さい。

中信衛指協による検査事業の概要

1 BVDV

- ・検査対象牛：放牧予定牛等
- ・検査手数料：300円/頭
検査結果が出るまでに 1～2週間 余裕を見てください。
- ・結果は中信衛指協から通知されます。(検査機関は細菌微生物化学研究所又は松本家保)

2 BLV

- ・検査対象牛：放牧予定牛、牛群中の陽性牛が把握されている農場の陰性牛・未検査牛
- ・検査手数料：415円/頭【免疫学検査(830円/頭)の半額補助(国の助成事業を活用)】
平成28年度に放牧予定の牛については、3月以降に採血した血液を検体として下さい
検査結果が出るまでに 1～2週間 余裕を見てください。

* 「BVDV」と「BLV」は同一の血液で検査が可能です。両疾病の検査を併せて行うことをお勧めします。

採血は臨床獣医師(中信衛指協指定獣医師)に依頼して下さい。

なお、本年度ヨーネ病検査が予定されている場合は、ヨーネ病検査用血液でも検査可能です。

問い合わせ先：防疫課 宮澤、徳武(担当)



しあわせ信州

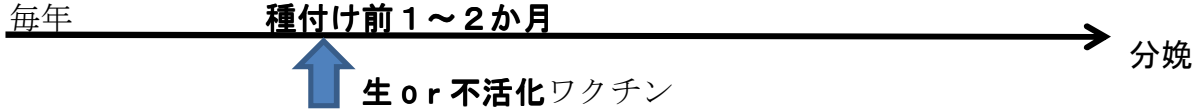
○ワクチン接種で感染を予防しましょう

牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）ワクチンプログラム

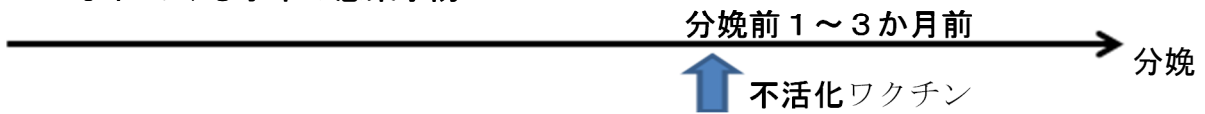
【搾乳牛及び繁殖雌牛】・・・年1回の不活化ワクチンの接種が基本です

*接種時期は予防目的により異なります

- 1 農場全体の感染防止・・・年1回不活化ワクチンの一斉接種
- 2 P I 牛の生産予防(ワクチンによるP I 牛生産の予防効果は70~80%程度です)

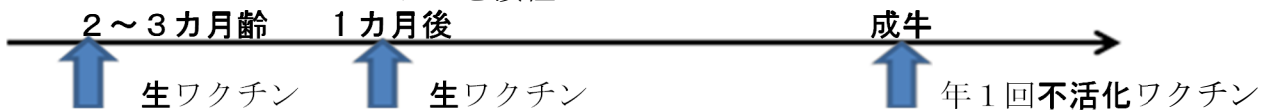


3 生まれてくる子牛の感染予防



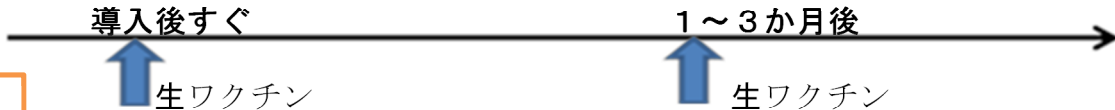
【繁殖候補牛】

自家育成の場合・・・子牛の時期に生ワクチンを2回、成牛になったら必ず年1回不活化ワクチンを接種



導入の場合・・・導入後すぐに不活化（妊娠をしていなければ生）ワクチン、その後は年1回不活化ワクチンを接種

【肥育牛】・・・生ワクチンを2回接種（10か月齢以降の導入牛は導入後1回でOK）



注

妊娠牛には必ず不活化ワクチンを！

子牛の移行抗体保有期間に接種した場合は、ワクチンの効果が得られない場合があります

上記は松本家保が推奨するワクチンプログラムですが、実際にワクチンを接種する際は診療獣医師に相談して下さい。

BVD-MDを含むワクチンの種類と中信衛指協の注射料金

	BVD-MD	IBR	PI3	RS	AD7	Hs	1頭当たり 注射料金	妊娠牛 への接種
IBR 5 混生 (株)微研)*2	1型生	生	生	生	生		1,900円	×
IBR 5 混生^E (株)微研)	1型生	生	生	生	生	不	2,300円	×
IBR 5 混不活化 (共立製薬)	1,2型*1不	不	不	不			1,800円	○
IBR 6 混不活化 (株)微研)	1,2型不	生	生	生	生		2,150円	○
IBR 6 混生 (株)微研)	1,2型生	生	生	生	生		2,150円	×

IBR：牛伝染性鼻気管炎、PI3：パラインフルエンザ3型、RS：牛RSウイルス病

AD7：牛アデノウイルス病7型、Hs：ヘモフィルス・ソムニ

* 1：BVD-MDには1型と2型があり、1型に対する抗体では2型が防げない場合があります。

* 2：株式会社 微生物化学研究所(京都微研)